

## ■ 目的と業務

### 目的

この法人は、地域の住民が、真に豊かでゆとりある生活を実現するため、出張理美容を中心とした在宅や施設入居者への生活支援サービスの向上を目的に、理・美容師免許取得者を対象に福祉理美容士養成講座を開講して人材を育成し、よって地域の医療や福祉に寄与することを目的とする。

また、先進国や発展途上国の介護を要する高齢者や障害者および貧困生活者を対象に、理美容師による国際協力の活動を推進してゆく。

### 特定非営利活動の種類

この法人は、上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
2. 国際協力の活動

### 事業

この法人は、目的を達成するため、次に掲げる特定非営利活動に係る事業を行う。

1. 出張理美容事業
2. 人材育成のための介護サービス研修、教育事業
3. 医療や福祉に関する情報収集、調査、研究、発信、広報事業
4. 他の非営利団体や行政、企業とのパートナーシップ形成事業
5. 国際協力の活動

## ■ ご挨拶

当 NPO 法人、日本理美容福祉協会は平成 12 年、内閣府（旧経済企画庁）より認証を受けて設立いたしました。NPO とは NGO（非政府組織）を包括した名称であり、福祉、環境、国際協力など公益社会の増進に関する活動を行う、営利を目的としない民間主導の特定非営利活動組織であります。

内閣府より認証され、介護を要する高齢者や心身障害のある方に対し、生活支援を効果的に行う出張（訪問）理美容サービスを行うと共に、他の特定非営利活動法人とのネットワークを創出し、市民活動、地域活性を推進する企業や行政ともリソース（資力、人材、特性）を持ち寄った協働

のパートナーシップ形成事業を行なってゆくことを目的とした地域密着の福祉活動であります。

当協会の協賛者（正会員）は、この事業目的を協働参加の視点から理解し、人材を育成する雇用促進活動と出張訪問理美容サービスを統合した事業化を構築し、共に参加責任ある当事者として、この活動を各地域において行ってゆきます。今後もより広く地域福祉環境の向上を目指すと共に、お互いが自主的、自発的に社会貢献、地域福祉に自律した「人間らしさ」を追求する NPO 活動を全国に推進して参ります。

何卒、当協会を市民活動の一環として行政、市民が監査役となり、事業の繁栄と運営に対し、ご指導、ご支援、ご鞭撻をいただけますよう今後とも宜しくお願い申し上げます。

日本理美容福祉協会は、入院患者や老人施設入居者、在宅療養患者を対象にした「出張型」の理容・美容のプロの集団です。豊富な理美容実務の経験が聞くこと・一人ひとりご利用者様へ心のアプローチを行っております。訪問理美容は、ひとつのカウンセリング効果が期待できる社会貢献事業です。

## ■施設訪問業務



病院や有床診療所、老人保健施設、老人福祉施設等へ、定期的又は希望日に随時お伺いし、親切にねいにご希望のヘアスタイルを創り上げます。業務場所は、施設内の医療や看護の障害とならない場所で行います。

## ■在宅訪問業務



医療機関の在宅介護支援センター・居宅介護支援事業者・居宅サービス事業者、ケアマネジャー、介護福祉士などからの紹介及び、在宅療養患者様宅からの直接依頼によってお伺いします。

私達は介護を要する高齢者及び、障害、痴呆などで本人がみずから理美容室に出向くことの出来ない方及び、法律で認められている環境の方に対し訪問理美容サービスを提供しています。業務場所は、廊下の片隅や洗面所付近などの空いたスペースを利用して行ないます。

- ご利用者の肌に直接触れるタオルや剃刀は、理美容師法に基づいて施行しています。
- 業務上の過失を補う為、業務賠償責任保険 2 億円にも加入しています。
- ご利用者の身体状況、安全衛生管理には特に注意し、業務を行っております。

## ■ 福祉理美容士/准福祉理美容士養成講座



当協会では、福祉理美容士養成講座を受講された理・美容師を【福祉理美容士】と認定し、協働の地域福祉に貢献する公益事業を行なっております。

## ■ ボランティア活動



日本理美容福祉協会では、各種ボランティア活動に積極的に参加しています。

## ■ 日本理美容福祉協会 認定校とは

### 認定校

1. 1年を超える実績がある教育機関を対象とする。
2. 2名以上の学内認定講師養成講座（3日間）を受講する。
3. 学内に福祉理美容技術（学）を指導する教育機関で行う。
4. 認定内容に沿ったカリキュラムを導入のため、協会指定のテキストを購入し、生徒様全員が使用する。（但し認定試験受講者はテキスト無料配布）
5. 日本理美容福祉協会に学内認定講師会員として1名以上登録する。
6. 福祉理美容技術（学）に基づく授業時間が年間30時間以上実施をする。
7. 指導に要する器具・用具を準備する。
8. 協会の認定校規約を順守する。

## ■ 福祉理美容士養成講座

### 合格を目指せる充実のカリキュラム

介助の基礎知識から1訪問理美容技術のノウハウを習得！

質の高いカリキュラムが組まれています。しっかり学んで最高技術を習得しましょう。

1. 自宅学習と2日間の実技講習の学習プログラムで資格取得

2. 在宅・病院・介護施設で活躍